

ふなばしみやうら

船橋宮裏遺跡(本発掘調査B)

所在地 稲沢市船橋宮裏町地内
(北緯35度14分54秒 東経136度46分37秒)
調査理由 道路改良事業(交付金)(一)津島稲沢線
調査期間 令和6年2月～3月
調査面積 570㎡
担当者 堀木真美子・荒木徳人



調査の経過 調査は、道路改良工事(交付金)(一)津島稲沢線に伴うものであり、愛知県建設局道路建設課(一宮建設事務所)から愛知県民文化局を通じた委託事業として、令和6年2月～3月にかけて面積570㎡の発掘調査を行った。

立地と環境 遺跡は、稲沢市の中心部を流れる三宅川の右岸自然堤防上に立地し、現況は水田耕作地となっている。今年度の調査区は工程上の都合により調査区の中央、東西方向に流れる井溝を境に北側を23A区、南側を23B区と設定した。

調査の概要 船橋宮裏遺跡では平成3年度と令和4年度に調査が行われている。平成3年度の調査では多数の土坑群や火葬施設など中世の墓地跡が確認された。一方、令和4年度の調査では地形的に低く湿地状であることから居住地として適さない環境であったため、遺物は出土したが住居遺構は確認されなかった。今年度の調査区は過去の調査区との間に位置しており、集落周縁部の範囲を確認することができた。

(荒木徳人)

